

2022年度 シラバス

情報

教科（社会と情報）

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A～H組
教科書(出版社)	高等学校 社会と情報 (数研出版)	副教材(出版社)等	社会と情報 サポートノート(数研出版)

1 学習の到達目標

コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
1 学期	4	序編 情報とメディア 第1編 情報社会と情報 モラル	オリエンテーション	コンピュータ室の使い方を説明し、コンピュータに関する基礎知識を確認します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期末考査の成績</li> <li>・ プリント</li> <li>・ ワークシート</li> <li>・ レポート</li> <li>・ サポートノート</li> </ul>
	5		第1章 情報通信技術の発達	情報通信技術の発達と社会の変化を学びます	
	6		第3章 インターネットでの情報検索	サーチエンジンの特徴と活用方法を理解します。	
	7		第1編 情報社会と情報モラル 第2章 情報セキュリティの確保	情報セキュリティを高めるためのさまざまな方法を理解します。	
2 学期	9	第2編 デジタル情報と情報の活用	第2章 コンピュータの仕組み	情報をデジタル化し処理する上で基礎となるコンピュータの基本的な仕組みを理解します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期末考査の成績</li> <li>・ プリント</li> <li>・ ワークシート</li> <li>・ レポート</li> <li>・ サポートノート</li> </ul>
	10		第4章 情報の表現と伝達	情報伝達メディアの性質を知り、情報を分かりやすく表現し効率的に伝達するために、適切な情報機器やメディアを選択し利用する方法を習得します	
	11	第3編 情報通信ネットワーク	第3章 インターネットの活用	インターネットの特性をまとめ、インターネットの利点と活用の際の注意点を理解します	
	12		第1章 情報システムと人間 第2章 問題解決	人間にとって利用しやすい情報システムの在り方について考えます。 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、問題を解決する方法を習得させる。	
3 学期	1	第4編 望ましい情報社会の構築	第1章 情報システムと人間 第2章 問題解決	人間にとって利用しやすい情報システムの在り方について考えます。 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、問題を解決する方法を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期末考査の成績</li> <li>・ プリント</li> <li>・ ワークシート</li> <li>・ レポート</li> <li>・ サポートノート</li> </ul>
	2				
	3				

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	コンピュータにおける情報の表し方や処理の仕組みに関心をもち、問題解決においてコンピュータを効果的に活用しようとするとともに、情報技術を社会の発展に役立てようとする。
思考・判断・表現	問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための方法を工夫したり、結果を踏まえて改善したりするとともに、情報技術が社会に及ぼす影響を考える。
技 能	問題解決においてコンピュータを効果的に活用するために必要な技能を身に付けて問題解決を行うとともに、情報通信ネットワークなどを活用して情報技術が社会に及ぼす影響を調べる。
知識・理解	コンピュータにおける情報の表し方や処理の仕組みを理解し、問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための科学的な考え方や方法を身に付けるとともに、情報技術が社会に及ぼす影響を理解している。

### 4 評価の方法

期末考査の成績、プリント・ワークシート、レポート、サポートノートなどの提出物の内容、学習活動への参加の仕方や態度を鑑み、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4観点を総合的に評価します。

### 5 メッセージ

(確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・ 社会と情報は、情報社会に参画する態度を養成する科目です。必要と思われる知識や技術については事前に予習などしておくことが必要です。
- ・ 情報は他教科の基本となる教科です。常に他教科ではどのように活用できるかを考えて学習してほしいものです。そのような意識でのぞむことにより、他教科でも役立つさまざまな技術や考え方を身につけることができるようになることでしょう。
- ・ 社会と情報は教科書の内容を暗記する科目ではありません。実習では自ら手を動かし、授業では常に問題意識を持ちながら考えてのぞんでください。